

## 発表者へのご連絡（お願い） 2017/07/14 訂正版

発表申込は、2017年7月21日（金）までに行ってください。

大会号抄録原稿は、**8月10日（木）**までに以下の通り送信（郵送）して下さい。

1. 作成方法：下記の大会抄録原稿作成についてをご参照下さい。大会号抄録原稿ファイルは、MS-Word 形式と PDF 形式の両方で作成して下さい。  
※大会号抄録原稿は、最新のウイルス対策ソフトでチェック後、ご提出下さい。
2. 送付先：e-mail：rhonrad@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp 〈大塚隆〉  
但し、郵送会員のみ郵送での申し込みも可能です。この場合、電子データは USB メモリー又は CD-R に MS-Word 形式と PDF 形式の両方で記録するとともに、紙媒体にプリントアウトした原稿も同封して下さい。  
郵送先；〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1  
東海大学体育学部体育学科 大塚隆研究室

### 【ポスター研究発表について】

ポスター研究発表の内容は、科学的研究、事例研究、指導法や教授法に関する研究、文献情報等々、学問的な関心に基づくものであり、かつ本学会での研究発表として相応しいものであれば自由です。

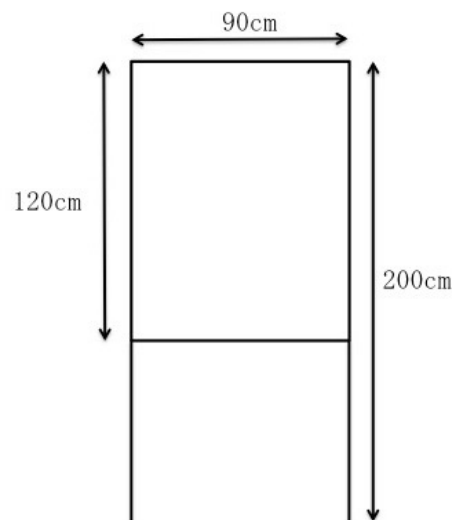
ポスター掲示用パネルは、ボードサイズ 90cm（横）×120cm（縦）、高さは 200cm です。

ポスター上部には、演題、演者、共同研究者、発表内容を記載してください。なお、押しピンは大会事務局が準備いたします。

ポスター掲示用パネルは会場〈ホール〉壁面に設置しますので、ポスター前には多少のスペースが確保されます。ノートパソコンなどによる動画などの再生や、実際の動きを体験することも可能です。ただし、パソコン用の電源コンセントは準備いたしませんので、**各自バッテリーを準備**して頂きますようお願いいたします。

ポスターの掲示は、9月2日（土）14時15分までに、指定された場所をお願いいたします。

はじめに1分間のインパクトプレゼンテーションを行い、その後、ポスターの前に移動し、参加者との討論になります。



## 【ポスター実践報告について】（新設）

ポスター実践報告の内容は、体操の活動紹介、新しい体操や考案した手具・用具等の紹介、体操普及のための方法など、発表者の実践報告の場です。したがって、研究発表の体裁は問いません。発表者の実践報告や話題提供により、参加者との討論の場を設け、学会の更なる活性化をねらいとします。

ポスター掲示用パネル（ボードサイズ 90cm（横）×120cm（縦）、高さは 200cm）に、報告内容の概要を記した紙（ポスター）をお貼りください。写真や資料も合わせて提示するなど、視覚的に工夫した紙（ポスター）をご用意ください。掲示の用紙サイズの指定はありません。例えば、A3 サイズの用紙をパネル内に数枚貼る形式でも構いません。なお、押しピンは大会事務局が準備いたします。

ポスター掲示用パネルは会場（ホール）壁面に設置しますので、ポスター前には多少のスペースが確保されます。ノートパソコンなどによる動画などの再生や、実際の動きを体験することも可能です。ただし、パソコン用の電源コンセントは準備いたしませんので、**各自バッテリーを準備**して頂きますようお願いいたします。

なお、この場所では、発表関連の物品等の販売はできません。

ポスターの掲示は、9月2日（土）14時15分までに、指定された場所をお願いいたします。

はじめに1分間のインパクトプレゼンテーションを行い、その後、ポスターの前に移動し、参加者との討論になります。

## 【口頭発表について】

発表時間は7分、質疑応答は3分とします（演題数により時間を変更することがあります）。

口頭発表に関するパソコン環境等の詳細につきましては、後日ホームページにてお知らせします。

## 【公募研究プロジェクト発表について】

発表の時間は質疑応答を含めて15分とします。発表時間10分、質疑応答5分を目安として、ご準備下さい。発表は、第一日目（9/2）に2題（口頭発表形式、又はポスター会場でのアクティブ発表形式）、第二日目（9/3）に2題（剣道場でのアクティブ発表形式）です。発表日・形式については、後日調整をさせていただきます。

## 【ポスター研究・口頭・公募研究プロジェクト発表の大会号抄録原稿作成について】

※大会号は白黒印刷になります。ご注意ください。

1. 用紙：A4版横書きで、上下左右の余白を各 20mm 以上とする。（サンプル参照）

## 2. 演題・氏名等

1) 演題は上段の第 1 行目または第 2 行目を用い、12ポイントのゴシック体で記入する。副題がある場合は改行して記入する。

2) 演者氏名と共同研究者氏名は、第 3 行目と第 4 行目を用い、所属機関は ( ) を付けて氏名の後ろに記入する。演者氏名の前に○をつける 〈10ポイント〉。

3. 学会コード：学会HPを参考に第 5 行目に番号と「目」を ( ) に記入する 〈10ポイント〉。

4. キーワード：第 6 行目に 2~5 語程度で記入する 〈10ポイント〉。

## 5. 本文

1) 本文は第 7 行目から 2 段組で記入する 〈10ポイント〉。

2) 本文の文字数は 25字 × 40行 × 2段 (2000文字) 程度とする。

3) 図や表などを使用する場合は、必ず枠内に収める。

## 6. まとめ方

1. 研究目的、2. 研究方法、3. 結果、4. 考察、5. 結論 (6.文献) など、項目別にまとめ、研究として完結していること。

## 7. その他

発表内容に他研究者が考案したオリジナル用具等の利用がある場合、抄録に必ず、出典 (考案者名、引用文献等) を明記して下さい。

## 【ポスター実践報告の大会号抄録原稿作成について】

※大会号は白黒印刷になります。ご注意ください。

1. 用紙：A4 版横書きで、上下左右の余白を各 2.5mm とし、4.0文字 × 4.2行 で設定する。(サンプル参照)

## 2. 演題・氏名等

1) 演題は上段の第 1 行目または第 2 行目を用い、12ポイントのゴシック体で記入する。副題がある場合は改行して記入する。

2) 演者氏名と共同研究者氏名は、第 3 行目と第 4 行目を用い、所属機関は ( ) を付けて氏名の後ろに記入する。演者氏名の前に○をつける 〈10ポイント〉。

3. キーワード：第 5 行目に 2~5 語程度で記入する 〈10ポイント〉。

## 4. 本文

1) 本文は第 6 行目から記入する 〈10ポイント〉。

2) 本文の文字数は 4.0字 × 1.3行 (5.20文字) 以内とする。

3) 原稿は文字 (テキスト) のみとし、図表や写真等を含めない。

## 5. まとめ方

実践の概要や取り組み、課題、今後の展望など、実践報告の内容を分かりやすく記入する。